

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県岐阜市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	岐阜市の文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>民間主導による地域の文化遺産の保護、活用に関する取組みを行政が支援することで、官民一体で事業を進める素地を醸成する。各事業は基本的に単年度で完結するが、前年度をふまえ、より発展させた事業も推奨していく。実施期間は平成32年度まで行う。</p> <p>※別添【図1】参照</p>			
6 実施体制			
<p>本事業は、事業主体となる実行委員会が事業を公募し、団体から申請された事業を取りまとめて、「岐阜市の文化遺産を活かした地域活性化事業」として申請する。実行委員会の事務局は、岐阜市教育委員会事務局社会教育課におき、事業の処務を行う。また、実行委員会には、事業計画に密接に関係している団体も参加し、事業の周知や事業内容の連携をとる。</p> <p>本事業の実施は、以下に掲げる団体がを行い、岐阜市教育委員会は指導機関として、事業に係る指導及び助言を行うとともに、事業の周知や団体間の連携等に関する調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明德若戒奉山会 ・ 長良川鵜飼文化の魅力発信事業実行委員会 ・ 金華安宅車奉曳保存会（平成29年度事業実施団体） ・ 特定非営利活動法人 ORGAN ・ 日本遺産「信長公のおもてなし」岐阜市推進協議会 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 42,954 千円	平成29年度申請額： 1,312 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業の実施により、以下の効果が想定される。</p> <p>(1) 市民の文化遺産に対する関心や理解が深まる。文化的景観選定エリアに含まれる多様な文化を様々な角度から分析、PRすることができる。</p> <p>(2) 市民が、各地域の文化遺産を保存・継承するための活動に主体的に取り組むことで、郷土愛や誇りの醸成、アイデンティティの確立し、ひいてはそれらを基盤とした地域の絆の再構築につなげることができる。</p> <p>(3) 「岐阜市歴史文化基本構想」策定にあたっての基礎資料や、地域の文化遺産の調査・保護・継承の担い手づくりにつなげることができる。</p> <p>(4) 文化遺産を活用することで当該地域や文化遺産のブランド化が図られ、来訪者や観光客の増加が見込まれる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	岐阜市無形民俗文化財指定に向けて、岐阜まつりの調査を自主財源にて行う。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>既に策定済である「岐阜市歴史的風致維持向上計画」、「史跡岐阜城跡保存管理計画」「長良川中流域における岐阜の文化的景観保存計画」および日本遺産【「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜】と整合性をとりながら連携し、5年後を目途に「岐阜市歴史文化基本構想」の内容を検討していく。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	岐阜市教育委員会事務局 社会教育課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	鵜飼観覧船乗客数	関連事業 :		長良川鵜飼文化の魅力発信事業		
目標値 1 :	平成 28 年度	108,653 人	⇒	平成 32 年度	110,217 人	
設定根拠 1 :	H23:106,694人 H24:105,475人 H25:105,002人 H26:102,714人 H27:103,927人 H28:108,653人 増減数の平均値391人×4年間=1,564人を目標増加人数として算出。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
108,653 人	人	人	人	人	人	
0%						
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	長良川うかいミュージアムの来場者総数	関連事業 :		長良川鵜飼文化の魅力発信事業		
目標値 2 :	平成 28 年度	600,000 人	⇒	平成 32 年度	1,100,000 人	
設定根拠 2 :	H24:10万人達成 H25:20万人達成 H26:30万人達成 H27:40万人達成 H28:60万人達成 増加数の平均値12万5千人×4年間=50万人を目標増加人数として算出。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
600,000 人	人	人	人	人	人	
0%						
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	安宅車・若戎車(蛭子車)奉瑛参加人数	関連事業 :		金華安宅車奉瑛保存継承事業 若戎車の山車囃子復活・再生 による地域活性化プロジェクト		
目標値 3 :	平成 28 年度	170 人	⇒	平成 32 年度	225 人	
設定根拠 3 :	平成28年度の参加人数を基に、毎年5%の参加人数増加を目標とする。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
170 人	人	人	人	人	人	
0%						

【図1】

